

Ⅲ 生涯学習推進事業一覧

1 人づくり

(1) 学校教育の充実

本市の学校教育の充実を図るため、確かな学力の育成とともに、心の教育と健やかな体づくり、そして国際化に対応した教育を行います。

情報化の推進では、学校のICT環境を整備し、ICT機器を活用した授業による、児童生徒の学習への興味・関心の向上に努め、個別に最適で効果的な学びを進めるとともに、学校、家庭、地域の連携により地域で子どもたちを育む力を高め、児童生徒が安心して学べる環境づくりに取り組んでいきます。

また、「自然教育センター」では、豊かな自然の中で集団宿泊体験活動を行うなど、教育の充実に努めています。

実践目標	具体的方策	事業概要	担当課名
① 確かな学力の育成	ICT機器を活用した授業の展開	小中学校に、電子黒板やタブレット型端末など、ICT環境の整備を進めます。 また、教科の特性に応じ、ICTを効果的に活用した学習活動の充実を図ります。 さらに、教員のICT機器を活用する資質・能力の向上を図るため、研究授業や研修会を実施します。	学校教育課
	マイチャレンジ推進事業（社会体験学習事業）の実施	地域の人々とのかかわりを主とした社会体験等を通して、中学生に共に生きる心や感謝の心等を育み、主体的に自己の在り方や生き方を見つめさせる事業です。	
	学校図書館の充実	小・中学校の図書館用図書を学校の購入計画に基づき購入します。 学校図書館は、学校教育に欠くことのできない基礎的な設備であり、児童生徒の健全な発達と学校教育充実を図ります。併せて、学校図書館司書を巡回配置し、読書活動を推進します。	
	複数担任制のための非常勤職員配置事業の実施	児童・生徒一人一人の個性を伸ばし、きめ細かな指導の充実を図るため、小中学校に複数担任制のための非常勤職員を配置しています。 職務内容は、担任教諭を補佐し、学習指導の補助です。	
	学力向上推進事業の実施	真岡市総合学力調査を実施し、その結果を活用することで、本市児童生徒の学力や学習状況、授業改善の効果等を把握・分析し、児童生徒一人一人の指導における課題を明確にすることにより、学力の向上を図るとともに、「分かる・できる・定着する」の実現に向けた授業改善を目指します。	
	科学教育の推進	学習用デジタルコンテンツを開発・作成し、市内各学校に配布することにより、科学教育センターと同様な授業が学校で再現できるよう環境を整え、科学教育を推進していきます。	科学教育センター

② 心の教育と健やかな体づくり	児童生徒の体力向上	児童生徒の体力は、日常の運動量の減少で低下の傾向にあります。学校において体育の授業をはじめ、体力向上プログラムに基づき児童生徒の基礎体力の向上を図ります。	学校教育課
	スクールカウンセラーの活用	栃木県スクールカウンセラー活用事業実施要項により、児童生徒の臨床心理に関して、高度に専門的な知識・経験を有する「スクールカウンセラー」を市内中学校7校（真岡中、真岡東中、真岡西中、大内中、山前中、中村中、久下田中）に配置し、その活用や効果に関する実践的な調査研究を行い、児童生徒の問題行動等の解決に尽力しています。	
	学校保健	児童生徒、教職員の健康の保持増進を図るために、健康診断等を行います。	
	心の教室相談員配置	生徒、保護者、教職員が悩み等を気軽に話せ、ストレス等を和らげることのできる第三者的な存在となり得る者を学校に配置し、生徒等が心のゆとりを持てるような環境をつくるため、中学校に「心の教室相談員」を配置しています。	
	適応指導教室の運営	不登校及び学校不応適傾向にある児童生徒に対し、専門的な指導の必要性から適応指導教室を設置し、「もおかライプリー教室」として運営しています。	
	学校づくり教育活動の推進	この事業は、あらかじめ設定された課題に取り組むという、これまでの研究事業の形から転換して、各学校が独自に目標を設定し、地域や学校の特色を活かしながら、創造性あふれる教育活動を展開することを目的としています。	
③ 国際化に対応した教育	自然教室の推進	豊かな自然の中での集団宿泊を通じて心豊かでたくましい児童生徒の育成を図ることを目的に、市内小学校3・4・6年生及び中学校1・2年生を対象に、宿泊体験学習を実施しています。活動計画は、各学校が主体となり、それぞれの児童生徒の実態や特色を生かして作成しています。	自然教育センター
	バイキング給食の実施	バイキング給食は、自分で選んだ物一つ一つが身体の成長と健康管理にどのような影響があるのかを理解するとともに、自由に選択できる給食の楽しさを実感してもらうために実施しています。	学校給食センター
	教育国際交流の実施	国際交流事業の一環として、市内6中学校がそれぞれ海外の中学校と姉妹校を結び、国際理解と友好親善に資するために相互交流を実施しています。 また、市内3中学校においては、国際理解に資するために交流を実施しています。	学校教育課
イングリッシュサマーキャンプの実施	近年、政治や経済のグローバル化が急速に進む中、真岡市では国際理解教育の一環として、平成元年から市内各中学校がそれぞれに海外に姉妹校をもち、中学生同士のホームステイや授業体験、生活体験を実施するなどの相互の教育国際交流を展開してきました。 本市におけるこのような国際理解教育への経緯を踏まえ、広い視野をもち、異文化を理解し、世界の人々と協働して生きていく態度を身につける機会を小学生にも広げることで、将来、本市出身の子供たちが世界で活躍するための素地を養うために、英語を母国語とする者と短期的及び集中的に交流する英語キャンプを実施します。		